東鉄工株式会社からの事業譲受に関するお知らせ

当社は、本日、東鉄工株式会社（本社：東京都江東区。以下「東鉄工」といいます。）の運営するバルブ事業及びその付随事業を譲り受けることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

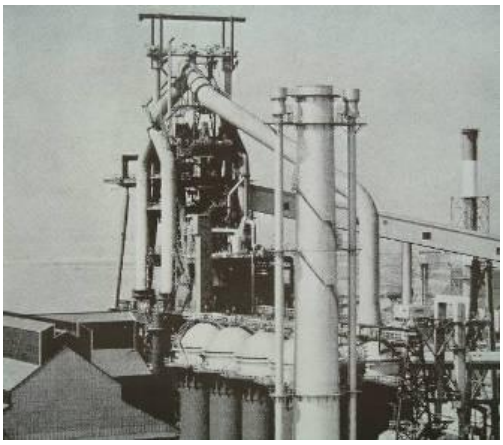
■事業譲受の理由

本件は、製鉄所向け高温・高圧対応バルブの設計・製造に特化した東鉄工のバルブ事業及びその付随事業（以下「本事業」といいます。）を譲り受けるものであり、当社グループの動力重機領域との高い補完性を有しております。特に、高温・高圧条件下の装置設計に強みを持つ当社の連結子会社である株式会社三和テスコ（以下「三和テスコ」といいます。）との間で、素材耐久性や現場ノウハウの共有を通じた技術シナジーが見込まれます。また、本事業では後継者不在により技術継承が課題となっており、当社が承継を担うことで、社会的意義のある役割を果たせるものと判断しております。これらを総合的に勘案し、本事業を譲り受けることとしました。

当社グループと東鉄工との成長可能性

■ 東鉄工の魅力

1．東鉄工の歴史



東鉄工は、昭和 28 年（1953 年）の創業以来 70 年超に亘り、製鉄所向けの特殊バルブや高耐久配管部品の設計・製造に取り組んでまいりました。特に、高温・高圧環境下で使用されるバルブ製品の分野において、炉の仕様や用途に応じた個別設計技術に強みを持ち、国内主要製鉄所向けに多数の納入実績を有しております。

これらの実績を通じて、日本の製鉄産業の安全・安定操業を長年にわたり支えてきた専門メーカーとして、高い技術信頼を築いてまいりました。

2．東鉄工の独自技術

東鉄工は、製鉄プラントにおける極めて過酷な高温・高圧環境に対応した特殊バルブの分野において、他に類を見ない高度な技術力を有しております。特に、炉種や工程に応じて異なる厳しい使用条件下においても、長期にわたり安定した性能を発揮できる構造設計・材料選定・加工技術を独自に磨き上げてきたことが、大きな強みとなっています。

東鉄工は、単に図面や仕様に基づく製品を提供するだけではなく、製鉄所の現場部門・保守部門と密接に連携し、設備や運用の実情に即した設計提案を行うことで、顧客から厚い信頼を獲得してきました。その成果として、主要な製鉄所の多くにおいて、長年にわたり継続的に採用されていることが、東鉄工の技術と信頼性を裏付けています。

これらの技術は、単なるバルブ製品としての枠を超え、製鉄所における操業の安定性と安全性を支える中核的な役割を果たしており、「代替のきかない重要部品」として位置づけられています。高度で専門性の高い知見が蓄積された東鉄工の技術は、わが国の基幹産業の一端を担う重要な社会的資産であり、今後も確実に次世代へ承継していくべきものと当社グループは考えております。

3．特殊バルブの市場規模

経済産業省の統計データによると、国内におけるバルブの生産額合計は 2024 年度で 5,736 億円であり、最近 10 年間で増加傾向にあります。

他方で、製鉄・石油化学・発電・環境設備など過酷な使用条件下で求められる高温・高圧・高腐食対応の「高温高圧弁」については、高炉から電炉への変遷等を背景に年々減少傾向にはあるものの、足元で毎年 40 億円前後が生産されております。

当社としましては、今後も数十年間の単位で、高温高圧弁はニッチな製品として底堅い需要が続くものと想定しているところ、東鉄工は、特に製鉄所向けに極めて高いシェアを有しており、技術的な参入障壁が高いこと及び市場規模も限定的であることから、今後もその希少なポジションを継続して享受できるものと考えております。

表：「弁・同附属品製造業」における最近 10 年間の品種別生産額実績（出所：経済産業省）

（単位：百万円）

年　度	ステンレス弁	鋳鍛鋼弁	鋳　鉄　弁	青・黄銅弁	高温高圧弁	自動調整弁	給排水栓類	合　　計
2015年度	68,237	14,433	60,843	25,620	6,182	129,535	109,769	414,620
2016	81,128	14,062	58,067	26,752	5,809	138,628	108,536	432,982
2017	109,366	12,185	58,827	29,510	6,574	151,281	109,727	477,469
2018	95,771	12,713	59,910	29,621	6,385	150,675	110,702	465,779
2019	95,381	15,730	58,742	27,993	5,546	148,160	107,755	459,307
2020	112,946	13,209	56,233	26,716	4,294	145,184	102,071	460,654
2021	153,630	12,364	58,265	33,201	4,810	173,293	115,984	551,547
2022	165,177	11,334	61,131	31,579	3,482	182,497	112,759	567,959
2023	125,355	13,397	64,548	35,075	4,491	174,436	112,900	530,203
2024	165,998	13,664	59,310	37,991	4,374	179,251	113,011	573,598

■ 本事業譲受の経緯

4．当社グループとの関係

東鉄工は、特殊バルブの設計に主軸を置き、顧客仕様に応じた高温・高圧対応製品の個別最適設計を強みとしてまいりました。製品の製作にあたっては、複数の協力企業と連携して各種工程を外部委託しており、とりわけ当社の連結子会社である三和テスコとは、素材加工・溶接・品質管理等の分野で長年にわたり緊密な協力関係を築いております。こうした実務を通じ、東鉄工の設計力と三和テスコの製造技術は高い補完性を発揮し、高温・高圧領域における信頼性の高い製品供給体制を確立してきました。

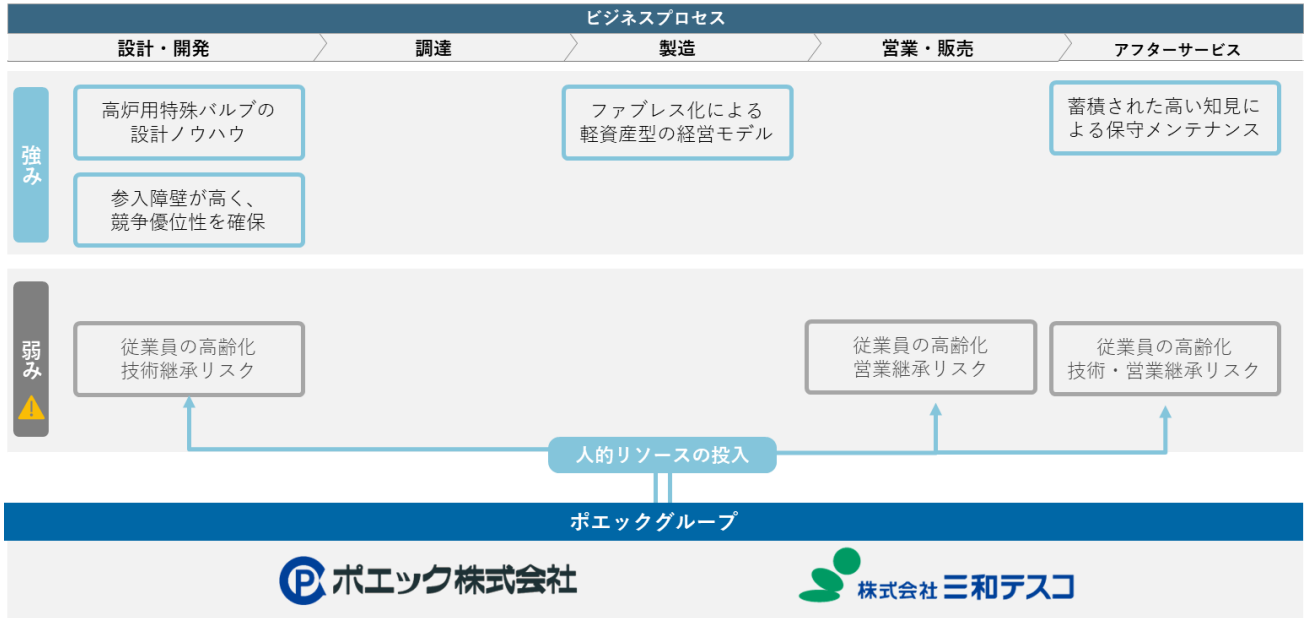
5．事業承継の経緯

東鉄工では、長年にわたり代表を務めてこられた先代社長が逝去されたことにより、事業承継に関する課題が顕在化しておりました。高度な専門技術を有するものづくり企業として、今後の事業継続と人材・技術の承継に懸念が生じるなか、当社グループに対して事業承継のご相談を頂いたことが、本件の端緒となっております。

当社は、東鉄工が長年培ってきた高温・高圧対応バルブの設計技術や製鉄所向けの知見を高く評価するとともに、三和テスコとの技術的親和性や連携余地の大きさにも着目し、当社グループとして責任をもって技術・人材を継承することが社会的にも意義深いと判断したことから、本事業を譲り受けることを決定するに至りました。また、それと同時に、特殊バルブ市場への参入を通じて、当社グループとしても新たな成長機会を獲得できるものと考えております。

■ 本事業譲渡譲受後のイメージ

6．東鉄工のバリューチェーン分析



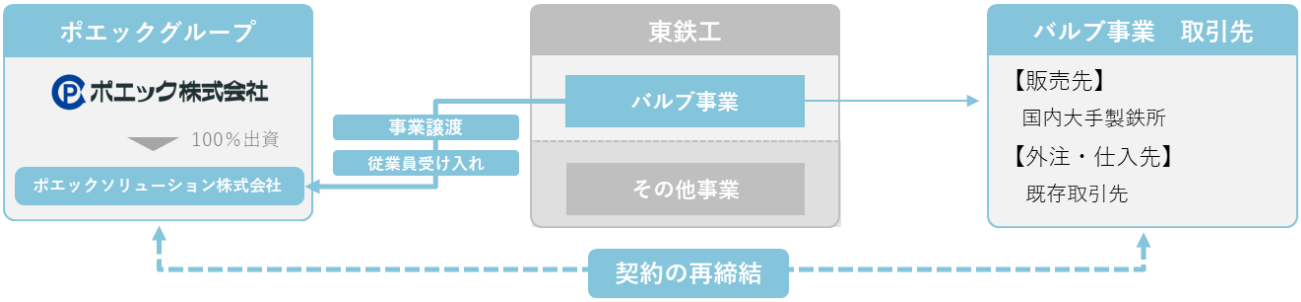
東鉄工は、高炉向け特殊バルブに関する専門的な設計ノウハウを有しており、高い参入障壁と競争優位性を背景に、製鉄業界において確固たる地位を築いてきました。また、自社で製造工程を持たず、ファブレス型の軽資産経営モデルを採用することで、効率的な事業運営を実現しています。さらに、アフターサービスにおいても、長年蓄積された知見に基づく高度な保守・メンテナンス力が強みとなっています。

一方で、設計・製造・営業・アフターサービスの各領域において、熟練従業員の高齢化に起因する技術・営業継承のリスクが顕在化しており、事業の持続性が課題となっていました。技術の属人化や人材の偏在といった構造的な課題が、将来的な競争力の低下につながる懸念も抱えられていました。

本事業譲受後、当社グループとしては、人的リソースの投入や三和テスコとの連携を通じて、技術・営業両面での承継支援を実施する方針です。さらに、設計ノウハウの形式知化や教育体制の構築を進め、将来的にはグループ内の他事業への知見展開も見据えています。これにより、既存の競争力を損なうことなく、事業継続と新たな成長に向けた体制強化を図ってまいります。

7．事業譲渡スキーム

本件事業譲渡は、東鉄工が有するバルブ事業を、当社の 100%子会社であるポエックソリューション株式会社が譲り受ける形式で実施されます。譲渡の対象には、バルブ事業に係る設計資産、運転資本（売掛金・仕掛品等）、顧客・取引基盤、および関連する役職員等が含まれます。これにより、製鉄所向け高温・高圧バルブの専門技術と、長年にわたって築かれた国内大手製鉄所との販売取引関係、および既存の外注先・仕入先との調達ネットワークは、新会社へ円滑に承継される予定です。 事業譲渡後は、顧客・サプライヤーとの契約関係についても、当社グループが契約関係を承継すること等で、事業継続性を確保します。これにより、当該バルブ事業の競争力と市場信頼性を維持しながら、当社グループ内での新たな成長に結びつけてまいります。



8．本事業譲受のスケジュール

項　目	日　付
契約締結日	2025 年 12 月 17 日
商号変更等に係る変更登記日	2026 年 1 月（予定）
事業譲渡の効力発生日	2026 年 2 月 1 日（予定）

9．本事業譲受後の商号変更等

東鉄工からの事業譲受をポエックソリューション株式会社により実施することとしたため、事業を円滑に承継すること及び東鉄工の歴史と技術ブランドを尊重することを企図して、2026 年 1 月中を目途に、下表のとおり商号変更等を行う予定です。

項　　目	変更前	変更後（予定）
商　　号	ポエックソリューション株式会社	東鉄工株式会社
資　本　金	500,000 円	30,000,000 円
代表取締役	来山　哲二（社長）	来山　哲二（会長） 近澤　雅章（社長）
事業目的	事業に関する企画、調査及び研究 環境保全に関する調査及びコンサルティング業務 企業の経営・財務に関する経営指導業務	事業に関する企画、調査及び研究 環境保全に関する調査及びコンサルティング業務 企業の経営・財務に関する経営指導業務 弁コックの設計、製造及び販売 鋼鉄の鍛造及び販売 各種機器の設計、製造及び販売 前各号に附帯する一切の事業
機関設計	取締役会非設置会社 監査役非設置会社	取締役会設置会社 監査役設置会社
免責登記	－	会社法第 22 条 2 項に基づく免責登記

（注）上記と併せて、本事業譲渡の効力発生日以降半年以内をめどに、譲渡会社である東鉄工においても商号を変更することを事業譲渡契約において合意しており、これにより、同一商号の使用による第三者からの誤認等を回避する予定です。また、上記のとおり、本事業譲渡に際して、ポエックソリューション株式会社は、会社法第 22 条 2 項に基づく「免責の登記」を行います。これにより、ポエックソリューション株式会社が東鉄工に商号変更した場合であっても、ポエックソリューション株式会社は、事業譲渡契約において同社が承継することとされた債務を除き、譲渡会社である東鉄工の債務を弁済する責任は承継いたしません。

10．本事業譲受後のサポート体制

本事業譲受後においては、ポエックソリューション株式会社として、経営・組織体制、内部統制・コンプライアンス、リスク管理、財務報告、人材・企業文化の各領域において、責任体制の明確化と主要課題の継続的モニタリングを行えるよう、グループとして必要な支援を段階的に実施してまいります。

また、経営執行会議および取締役会への定期的な報告・検証を通じて、持続可能で健全な運営が実現できるよう、体制面・運用面の両面からサポートを行ってまいります。

以上

【本リリースに関する問い合わせ】

ポエック株式会社　管理部：084-922-8551